



さいじょう



令和6(2024)年5月1日発行

市議会だより

第83号

市内5高等学校で議会報告会を開催しました



丹原高等学校

みずきの
ええとこ発見!



西条農業高等学校



西条高等学校



小松高等学校



東予高等学校

2月
臨時会

新しい議会構成が決まりました！

令和6年第2回2月臨時会が2月16日に開催され、市長提出の報告1件の聴取を行いました。

また、正副議長の選挙、常任委員会・議会運営委員会委員の選任、特別委員会委員の補欠選任、正副委員長の互選を行い、新しい議会の組織構成が決まりました。



正副議長就任挨拶



副議長 越智 俊幸

議長 楠 学

市民の皆様には、日頃より、議会活動並びに市政運営に深い御理解と温かい御支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。
このたび、私たち両名は西条市議会議長、副議長に就任しました。

本市は合併20周年という記念すべき節目を迎えます。コロナ禍に停滞したコミュニティや、人と人、更には地域のつながりを今一度見直す機会とし、郷土への愛着と誇りが更に醸成されることを願っています。

また、計画の最終年度を迎える「第2期西条市総合計画」並びに「西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進を図るためには、地域住民の視点をいかに盛り込むかが重要となり、議会が担う責任と役割は大きいと考えております。

そのような中、二元代表制の一翼を担う議会のかじ取り役という、その使命と重責に、あらためて身の引き締まる思いであります。

今後も、市民の皆様の期待と信頼に応えられるよう、全議員が一丸となって議会運営に取り組んで参りますので、格別の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

正副議長退任挨拶

就任以来、市民に開かれた議会の構築を目指し、政策提言会の開催や、初めての試みとなった市内5高等学校へ出かけての議会報告会の開催など、議会の活性化に積極的に取り組んで参りました。

今後も、この経験を生かし議員としての役割を果たして参りますので、なにとぞ御指導を賜りますようお願い申し上げます。



前副議長 高橋 保



前議長 坪井 剛

常任委員会 ……委員長 ……副委員長		総務委員会 経営戦略部・総務部・財務部・会計管理 者・選挙管理委員会・監査委員・公 平委員会・固定資産評価審査委員会 の 所管に属する事項及び他の委員会に属 さない事項の調査・審査（委員7人）	福祉文教委員会 福祉部・こども健康部・教育委員会の 所管に属する事項の調査・審査（委員 7人）	環境消防委員会 市民生活部・環境部・消防の所管に属 する事項の調査・審査（委員7人）	産業建設委員会 産業経済部・農林水産部・建設部・農 業委員会の所管に属する事項の調査・ 審査（委員7人）	予算委員会 予算に関する事項の調査・審査（委員 28人）
		◎高橋 保 市川みどり 藤井 武彦 武田 功 ◎今井 廣一 真鍋 顕伸 越智 俊幸	◎三好 和彦 越智由美子 坪井 剛 伊藤 孝司 ◎城戸 力 西坂 壽 藤田 節雄	◎佐伯 利彦 森川 亜紀 伊藤 新平 一色 輝雄 ◎塩崎 雄大 白坂 均 御荘 秀樹	◎井上 浩二 高橋 淑子 高橋 章哲 楠 學 ◎佐々木 充 川又由美恵 行元 博	◎川又由美恵 ◎高橋 保 ※予算委員会は全議員で構成 されている委員会です。

議会運営委員会 議会運営、議会の会議規則、委員会に 関する条例などに関する事項・議長の 諮問に関する事項・議会広報に関する 事項の調査・審査（委員10人）	◎藤井 武彦 西坂 壽 御荘 秀樹 行元 博 武田 功 ◎川又由美恵 高橋 章哲 藤田 節雄 一色 輝雄 伊藤 孝司
特別委員会 委員の辞任に伴い、委員の補欠選任と 副委員長の互選を行いました。	水資源調査特別委員会 坪井 剛
ごみ対策調査特別委員会 高橋 保 坪井 剛	議会活性化特別委員会 ◎高橋 章哲 井上 浩二
総合計画等検討特別委員会 高橋 保	令和5年度議会報告会 令和6年1月に、市内5 高等学校でそれぞれ開催し ました。 議会報告会はこちら…



令和6年第2回2月臨時会に
おける議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果
報告第1号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	報告聴取
	議長の辞職について	許可
選挙第1号	議長の選挙について（楠 學）	投票
	副議長の辞職について	許可
選挙第2号	副議長の選挙について（越智俊幸）	投票
選任第1号	常任委員会委員の選任について	議長指名
選任第2号	議会運営委員会委員の選任について	
	各常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査事項の決定について	原案可決
	水資源調査特別委員会委員の補欠選任について	議長指名
	ごみ対策調査特別委員会委員の補欠選任について	
	議会活性化特別委員会委員の補欠選任について	
	総合計画等検討特別委員会委員の補欠選任について	

令和6年第1回1月臨時会に
おける議案の審議結果

令和6年1月25日に開催された臨時会
において、低所得者支援・定額減税補足
給付金支給事業に関する議案1件につ
いて審議を行いました。

○議案第1号
令和5年度西条市一般会計
補正予算（第10回）について

議決結果
原案可決

3月 定例会

令和5年度補正予算（総額41億7,896万2千円）
令和6年度当初予算（総額868億4,447万9千円）
令和6年度補正予算（総額708万8千円）を可決

令和6年第3回3月定例会は、2月27日から3月21日まで開催され、議案47件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、3会派の代表者が代表質問を、議員12人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に4ページから9ページに掲載しています。



西条自民
クラブ

一色 輝 雄 議員



- 1 財政運営について
（代表質問）
- 2 次代を担う子どもたちのための学校教育環境について
- 3 企業誘致に向けた取組について
- 4 合併20周年記念事業について

財政状況の見通しは？

問

人口減少の中、扶助費などの義務的経費及び大型公共施設の整備・更新などの投資的経費の増加により、厳しい財政運営が求められているとの認識を市長は示されているが、令和6年度の当初予算編成では、歳出改革にど

のように取り組んだのか。
また、今後の財政状況の見通しをどのように考えているのか。

答

歳出改革として、各部署局長のマネジメントの下、経常的経費については、物件費などの対象経費で令和5年度予算額を上限とする枠配分方式を継続実施して経費を圧縮するとともに、政策的経費についても、経費削減や事業の優先順位付けを図った。しかし、令和6年度当初予算は、投資的経費の増加などにより、令和5年度当初予算と比較して、一般会計で60億1千万円の増額となっている。財政状況の見通しとしては、社会保障費や公債費などの増加が見込まれ、経常的経費の増加が避けられず、施設の長寿命化改修などの大型の投資的事業も見込まれている。また、課題となる財源の確保については、歳出改革に加え、使用料などの見直しによる受益者負担の適正化、企業の留置・誘致の推進、税収の確保に取り組み、各種施策を着実に推進していきたい。

どう進める？

学校規模の適正化

問

学校教育においては、集団の中で、多様な考えに触れ、一人一人の資質や能力を伸ばすことが重要であり、小・中学校では、一定の規模が確保されていることが望ましいとの考えの下、学校規模の適正化などを検討しているが、どのようなスケジュールで取り組んでいくのか。

答

学校規模適正化については、本市が令和4年度に保護者及び教員を対象としたアンケートの結果を受けて、令和5年1月の総合教育会議で方針が決定したものである。これを受け、教育委員会においてワーキンググループを立ち上げるとともに、全庁横断的検討組織としてのプロジェクトチームを立ち上げ、研究・検討を行うこととした。現在は、ワーキンググループで通学対策などの検討を行っており、プロジェクトチームでは、最新の将来児童・生徒の予測データを基に、複式



課題の共有のため地域と市による
タウンミーティングを開催

学級の発生する学校や単級校の予測などを行っている。
令和6年度は、外部有識者や各団体の代表者などからなる審議会を立ち上げ、将来的な学校適正規模・適正配置などの基本的な方針について答申をいただく予定である。
学校再編については、タウンミーティングなどで意見を伺っており、世代による意見の違いもあるが、基本原則である次代を担う子どもたちのための学校教育環境の創出に向けて、令和6年中を目途に審議会からの答申を受け、総合教育会議などで方針を決定したい。

行元 博議員



1 (一般質問)
丹原及び小松サービスセンターの現状と今後の在り方について

持続可能な

市民サービスの提供を！

問

人口減少、少子高齢化の進展により、人口構造が変化していく中で、地方自治体として業務の効率化や組織の適正化を図っていくことは必要なことであり、理解するところである。

災害などの緊急時の対応を含め、利便性を低下させず、行政サービスを向上させ、更には、市民の満足度を高める必要があると思うが、再編から約1年半が経過した丹原及び小松サービスセンターの現状と今後の在り方をどのように考えているのか。

答

総合支所の見直しによる支所、サービスセンターの現在の体制が最終形とは考えておらず、組織体制を含む今後の行政の在り方については、引き続き、最少の経費で最大の効果を上げるべく、行政サービスのよりよい形を追求しながら、行政運営を展開していきたい。

その一環として、西条市DX推進戦略に基づき、将来のビジョンである、時間や場所に捉われない手続きができる市役所に向けて、行かない窓口、書かない窓口、待たない窓口の実現を目指した取組を進めているところである。

これまでの推進状況として、書かない窓口、待たない窓口の実現に向けては、令和5年4月から本庁で、おくやみ窓口の正式運用を開始しており、令和6年4月からは本庁で得られたノウハウを生かし、西部支所でも運用を開始する予定である。

また、行かない窓口の実現に向けては、汎用的な電子申請ツールや国が運営するマイナポータル上の電子申請機能である、ぴったりサービスな

どを活用し、オンラインでできる手続きの拡大を進めたいところである。

なお、災害など緊急時に際しては、現在、災害対策本部の運営において、部局横断的な対応ができるチーム制を導入している。また、各チーム内において、西部支所及び各サービスセンターの配置要員を選定しており、災害時の対応力の低下を招かない体制を維持している。

今後の目指す姿としては、現在、窓口で行っている手続きについても、将来的にはオンラインで手続き可能にすることで、最終的には居住する地域に関係なく、自宅や出先など、いつでもどこからでも手続きができる状態にすることを目指していきたい。



西部支所に開設したおくやみ窓口

佐伯利彦議員



1 (議案質疑)
考古歴史館管理運営事業について
2 (仮称) 東部給食センター整備事業について

新しい給食センターの
災害時や食物アレルギーの
対応は？

対応は？

問1

南海トラフ大地震で想定される3メートルの津波で水没することはないとされているが、道路が寸断されたり、水没したりした場合の配送については、どのような対応を考えているのか。
また、食料の備蓄や、停電となった場合の対策について、どのように考えているのか。

答

大規模災害が発生した場合、学校給食は停止する可能性が高いと考えてい

るが、まずは、施設の安全確認や職員の安否確認を行い、早期の復旧に向けて準備を行う想定である。

食料の備蓄については、給食用の精米約2トンをストックしており、災害時には移動式の回転釜を活用して炊き出しを行うことも想定している。また、容量約60トンの受水槽を整備することから、非常時には給食センターで使用している調理器具、調味料などを使用し、近隣の避難所などへ配食を行うことも可能と考えている。

また、給食センターを管理運営する株式会社西条東部給食PFIサービスから、災害対応に協力し、関連グループからの従業員の派遣や系列工場から物資などの提供を行うという提案があり、今後、市と災害協定を締結する中で協議を行う予定である。

更に、停電時の対策としては、連続40時間程度の運転が可能で自家発電装置を、給食センターの屋上に設置し、停電時の電源供給を行う予定である。

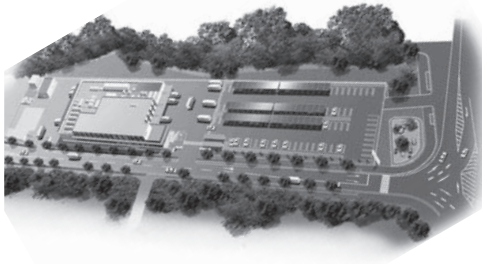
問2

食物アレルギー対応については、どのように考えているのか。

答

現在は、本市の「学校給食における食物アレルギー児童生徒への対応マニュアル」に基づきアレルギー対応を行っている。

新しい給食センターでは、専用のアレルギー調理室を整備し、現在行っている対応に加え、一部のアレルギー（卵と牛乳・乳製品）においては、代替食の調理を行うことが可能となり、児童・生徒ごとに個別の専用食器などを使用し、より安全・安心なアレルギー対応が実施できるものと考えている。



(仮称) 東部給食センターの完成予想図

三好和彦議員



(議案質疑)

1 動物愛護推進事業について

2 避難行動要支援者支援事業について

(一般質問)

1 災害時におけるペットの避難について

動物とのよりよい共生へ事業実績と今後の取組は？

問

不妊・去勢対策の成果やマイクロチップ装着に係る事業の実績はどのようなになっているのか。

また、この事業を通じて、今後、解決すべき課題についてどのように取り組むのか。

答

令和6年1月末現在の飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助については、手術終了若しくは申請中が83

件となっており、補助額は54万5千500円である。令和5年度の成果として、飼い主のいない猫の減少や健康状態の向上の具体的な効果は確認できていないが、83匹が避妊手術を受けていることから、今後一定の成果が出てくるものと期待している。また、マイクロチップ装着費補助金については、7件の申請があり、補助額は1万3千800円である。

今後の取組として、不妊去勢事業については、周辺住民にも配慮しつつ、飼い主のいない猫たちが終生地域で過ごすことができるための見守りの協力を申請者に依頼したい。また、マイクロチップの装着については、盗難や迷子、災害時に逸走した動物の所有者などの特定を容易にするという利点を説明し、普及啓発の強化と併せて事業の紹介を行っていききたい。

誰一人取り残さない

避難計画の作成を！

問

本市の個別避難計画の作成率が低いが、この状況をどう捉えているのか。

また、災害時に本計画が実際に機能するための訓練計画や対策についてどのように考えているのか。

更に、災害時における要支援者の安全確保のため、具体的にどのように取り組んでいくのか。

答

個別避難計画の作成率低迷の原因としては、要支援者の状況把握や関係者との調整、支援者の確保に時間と労力がかかることなどが挙げられるが、要支援者の支援を実効性のあるものにするためにも、計画の作成を促進する必要がある。

令和5年度の市総合防災訓練では、訓練参加者の協力を得た要支援者の受入訓練などを実施したが、今後も要支援者のための避難訓練などを実施することを実行委員会に提案していききたい。

引き続き、共助の要である、自治会や民生児童委員などの協力を得るとともに、新たに福祉専門職などの参画も得て、計画の作成を促進し、要支援者の避難支援体制の充実に努めたい。

自民クラブ

藤田節雄議員



(代表質問)

1 公共施設等の管理について

2 水産業の振興について

施設の適正管理により持続的なサービスの提供を

問

本市では、公共施設の再編や長寿命化などの方針を示した個別施設計画（第1期）を作成し、各施設の適正管理に取り組んでいるが、計画の進捗や施設などの売却の現状、今後の方針はどのようなになっているのか。

また、公共施設の維持・更新などに係る財源確保の見通しについてはどのように考えているのか。

答

平成29年に公共施設等総合管理計画を策定し、

令和元年に40年間で延べ床面積の20パーセントを削減する目標を定めている。また、令和3年に個別施設計画（第1期）を策定し、令和8年度末までに3・89パーセントを削減する目標を定めているが、新たな施設の建設や建て替えによる面積増加により、令和5年度末の見込みで、延べ床面積の0・62パーセント、約3千200平方メートルの削減にとどまっている。

公共施設の売却実績は、平成27年度から令和5年度まで、土地のみの売却は17件、面積約1万3千800平方メートル、売却額約1億4千800万円であり、建物付き売却は令和5年度に1件、土地面積832平方メートル、建物面積612平方メートル、売却額590万円となっている。

今後も、用途廃止後は使用見込みがない土地・建物については、積極的に情報を発信し、民間での利活用の拡大に努めたい。

また、財源確保の見込みについては、個別施設計画（第

1期）に基づく集約化、複合化、解体などに当たり、国・県などの補助金や有利な起債がある場合は、その活用に努め、ない場合には公共施設再編整備基金を活用し、施設保有量の削減を進めている。

当該基金は、令和4年度に6億円で造成し、令和5年度に解体・売却に係る経費として約6千万円を取り崩し、土地等売却収益として約7千300万円を積み立てる予定で、令和5年度末の残高は約6億1千300万円を見込んでいます。令和6年度においても、当該基金約9千700万円を取り崩し、建物の解体と売却の準備を進めるとともに、土地などの売却収益を基金に積み立てることとしている。



長寿命化を検討する庁舎

井上 浩 二議員



（一般質問）

- 1 ごみ処理について
- 2 地域防災の取組について

ごみ処理施設の広域化・集約化の検討状況は？

問

ごみ処理施設について、本市と新居浜市で協議を進めているが、広域化・集約化の結論はいつになるのか。また、新施設における用地選定と地元同意が得られるかどうかについて、どのように考えているのか。

答

一般的に、新施設の整備については、環境影響評価や施設建設などに期間を要することから、基本構想策定から供用開始まで8年から10年程度かかるとされており、本市としては、新施設の稼働時期の目標を令和17年度としている。

広域化して、一部事務組合で運営する場合は、同組合の設立などが必要となることから、関係機関の意見もいただきながら、総合的な判断により、令和6年度末頃までには、ごみ処理施設の単独整備又は民間活用事業を含む広域化についての結論を出したいと考えている。

新たな施設の用地選定については、単独整備、広域化のいずれの場合も現施設よりも広い敷地が必要であることから、現在、新居浜市と比較的条件の整った場所の抽出作業を進めているところである。

近年、他市で整備されたごみ焼却施設では、ごみ焼却により発生する熱や発電による電気などを周辺施設で利用する地域エネルギーセンターとしての機能や災害時の防災拠点としての機能を持たせている施設があり、本市においても、新施設が地元を受け入れられるような施設になるよう検討し、候補地の地元同意が得られるよう、丁寧に説明して参りたい。

指定ごみ袋の返還方法は？

問

令和7年4月から使用できなくなる指定ごみ袋は、市が回収し、ボランティア清掃などで使用することであるが、市役所への持参が困難な方への対応はどのように考えているのか。

答

ごみ袋の回収場所については、本庁、西部支所、サービスセンターだけでなく、公民館も加え回収をしているが、交通手段の少ない方でも返還しやすいような方法を検討し実施したいと考えている。

森川 亜紀 議員



（議案質疑）

- 1 グローバルイングリッシュスクール事業について
- 2 民間プール等活用モデル事業について

**移動の安全対策を徹底し、
泳力の向上を期待する！**

問

近年、施設の老朽化や自校式水泳授業に係る教員の負担が問題視されていることに加え、将来的な児童・生徒の大幅な減少により、学校の規模適正化に向けた検討がされる中、民間プールを活用したモデル事業が実施されるが、安全対策などの課題や期待される効果についてどのように考えているのか。

答

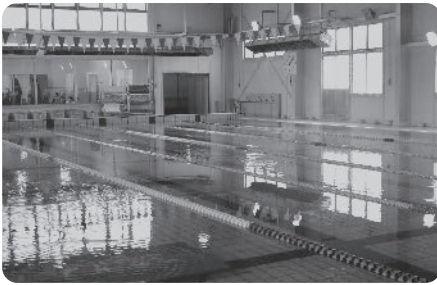
現在、市内小学校25校、中学10校に自校式プールを設置しているが、全てを維持管理、更新することは、人的・経済的負担の面から困難であることから民間プール活用の検討を行ってきた。民間プール事業者に水泳指導委託を行っている他団体を参考にモデル事業として、旧西条地域の事業者で小・中学校1校ずつ、東予地域の事業者で中学校1校が実施し、児童・生徒は事業者の所有するバスでの移動を予定している。また、丹原西中学校については近くの丹原B・G海洋センタ

ーを活用し、自転車での移動を予定している。

この事業では、インストラクターから専門的な水泳指導を受けることで児童・生徒の泳力の向上や、教員の負担軽減、施設の維持管理費用の削減が効果として期待される。

学校管理下の授業という位置付けは変わらず、バス移動時から教員が帯同し、授業実施時には教員も監視するため安全面については強化されるものと考えている。

新学期から対象校の保護者に周知を行い、令和6年6月から実施し、泳力の向上に関する技術面や安全面の指導状況、移動の安全性、施設内で着替えなどの準備が円滑にできるかなどについて検証する。



全天候型屋内プールで
児童・生徒の泳力の向上を

西条みらい
クラブ

御 莊 秀 樹 議員



- (代表質問)
- 1 施政方針について
 - 2 能登半島地震を踏まえた大規模地震対策について

自助、共助の対策を！

問

災害時には自助、共助が重要となる。今後どのように取り組んでいくのか。

答

南海トラフ巨大地震では、インフラなどの被害により生活基盤に甚大な被害が及ぶことが想定されており、市民自らが守る意識を持って避難行動を取る自助及び地域で互いに助け合う共助の取組の強化と、公助体制の充

実を図り、総合的な防災・減災対策を進めていきたい。

真 鍋 頭 伸 議員



- (議案質疑)
- 1 地域自治推進事業について
 - 2 森林経営管理推進事業について

豊かな森林を次世代へ！

問

本市の森林は豊かな資源である一方で課題も抱えているが、どのように森林ビジョンを策定するのか。

答

本市の森林のあるべき姿について50年から100年先の長期的な視点で計画を策定する。ビジョンの理念に即した森林整備の推進及び森林が有する多面的機能の理解を深めるとともに、市民全員で森林を守り育て、地下水を

はじめとする豊かな資源を次世代に引き継いでいきたい。

佐 々 木 充 議員



- (一般質問)
- 1 大学入学共通テストの東予地域での開催について
 - 2 行政文書の郵送について
 - 3 小・中学校における歯周病予防について

公平な受験機会の確保を！

問

東予地域に共通テストの試験場を設けるよう要望する考えはないのか。

答

試験場の設置については、受験生や保護者の要望に応えたいという気持ちはあるが、試験場となる可能性が高い高等学校の意向も尊重すべきと考え、総合的に検討した結果、本市としては要望するには至っていない。

公明党
西条市議員団

城戸 力 議員



- (議案質疑)
- 1 浄化槽設置整備事業・合併処理浄化槽維持管理事業について
(一般質問)
 - 1 大地震に対する防災意識の啓発について
 - 2 認知症対策ユマニチュードについて
 - 3 小・中学校におけるがん教育について

自分の家の災害リスクは？

問 地震10秒診断システムを周知・啓発する考えはないのか。

答 今回、紹介いただいたデジタルコンテンツに

については、市のウェブサイトで紹介したいと考えている。

高橋 淑子 議員



- (議案質疑)
- 1 神戸小学校施設長寿命化事業について
(一般質問)
 - 1 災害対策について
 - 2 障害のあるかたへの合理的配慮について

小学校と公民館の

複合化の効果は？

問 本市では初となる小学校と公民館の複合化を進めているが、どのような効果を想定しているのか。

答 児童と地域住民の交流が深まることで地域の活性化が図られ、また、防災拠点として、地域の防災力の向上につながると考えている。

会派に
属さない議員

高橋 章 哲 議員



- (一般質問)
- 1 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について

悩める女性への支援を！

問 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行を契機に、悩みを抱える女性を積極的に支援するため、今後、どのように取り組んでいくのか。

答 女性に関する課題は複雑多様化している。相談窓口での対応のほか、庁内の関係部署及び関係機関と連携を深め、きめ細かな切れ目のない最適な支援を行うこと

ができるよう引き続き取り組みたい。

市川 みどり 議員



- (議案質疑)
- 1 地域公共交通活性化対策事業について
 - 2 保育体制強化事業について

住民ニーズに応える

利便性の確保を！

問 西部地域の公共交通体系について、今後どのように考えているのか。

答 バス路線廃止などに併せて、東予、丹原、小松地域にデマンド型乗合タクシーの導入を行う予定である。なお、公共交通体系の再編後には、運行実績の検証を行うとともに、利用者の声や住民ニーズを把握し、運行内容の

改善を図る予定である。

越智 由美子 議員



- (一般質問)
- 1 学校施設の災害対策について

体育館に

冷暖房機器の設置を！

問 災害時に避難施設として利用が見込まれる学校体育館において、冷暖房機器の備えはできているのか。

答 小・中学校の体育館への、冷暖房機器の設置については、施設の耐熱性能の確保や、施設自体の老朽化対策など、さまざまな課題もあることから、今後、児童・生徒の熱中症対策の観点と併せて、災害時などにおける指定避難場所としての機能強化についても研究していきたい。

総務委員会・分科会での主なQ&A

3/8 開催
付託議案 10件

西条市指定金融機関の 指定について

Q 平成30年度から輪番制を導入しているが、導入の経緯と目的は？

A 金融機関に門戸を開放すること、金融機関の機会均等の公平性や競争性を確保することが目的であるが、今回の応募は愛媛銀行のみであったため、公平性の観点では目的の達成は図れなかった。しかし、本庁では、窓口利用時間が延長されるなど、競争性において、サービスの向上につながった。

SDGs未来都市 推進事業について

Q 持続可能な社会を目指して、令和6年度は環境面でのような事業に取り組むのか。

A SDGs活動の、経済、社会、環境の3側面につながる活動のうち、環境の側面にお



アクアトピア水系の過去と現在の風景

ける事業として、アクアトピア水系での賑わい創出事業を予定している。かつては生活排水などで汚れていたが、先人の取組により、現在はきれいな水辺が戻っているアクアトピア水系は、環境面でSDGsに深く貢献したシンボルであると考えている。今後、LOVE SAILINGプラットフォームを活用したアクアトピア水系での活動を通して、環境面でのSDGsの推進を行っていきたい。

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

3/8 開催
付託議案 17件
請 願 2件

西条市学校適正規模・適正 配置等審議会条例について

Q 今後のスケジュールは？

A 令和6年度に審議会の設置に向けた準備を進め、その後、設置された審議会に対し、教育委員会から諮問を行い、令和6年中に答申をいただき、その答申を踏まえ、総合教育会議の審議につなげていく予定である。

西条市介護保険条例の一部 を改正する条例について

Q 条例改正の内容と、介護保険料基準額を据え置くこととした理由は？

A 全国的な介護給付費の増加に伴い、国の制度に合わせ介護保険料の多段階化について条例を改正する。

一方、本市の高齢者人口は、現在約3万4千700人とほぼピークを迎えており、今後は僅かな

がらの減少傾向にあると推計しており、介護サービス給付費に大きな増加はないと見込んでいるため、介護保険料基準額は据え置くこととした。今後も、介護保険制度の健全な運営に努めたい。

体育施設アドバイザー 事業について

Q 新規事業として取り組むに至った経緯は？

A 合併により、機能的に重複した体育施設が複数存在し、施設自体も経年劣化により老朽化が進んでいる状況にある。

多くの体育施設が更新時期を迎える中、全体的な体育施設の在り方について、運用の改善や財政負担の軽減、平準化などを図り、人口規模や地域特性なども考慮しながら、長期的な視点を持って、更新、統廃合、長寿命化などに向けた検討を行うため、本事業に取り組むものである。

環境消防委員会・分科会での主なQ&A

3/11 開催
付託議案 8件

地域公共交通活性化 対策事業について

Q 西条地域のよりそいタクシーの実証運行に対する実績及び評価は？また、東予地域での実証運行についてどのような周知するのか。

A 令和4年10月から実証運行を開始した、西条地域のよりそいタクシーの1年間の稼働率は71・9パーセントで、他市で行われている同様の事業と稼働率は、ほぼ同じ状況であり、西条市地域公共交通活性化協議会に報告し、西条地域においては現状のままで本格運行に移行することで同意された。

今後、東予地域において実証運行を行う際には、当該地域のかたへは広報紙に併せて、折り込みちらしを配付することで周知を図り、また、自治会や各種団体に対し、利用方法や運行方法について説明会などを開催していきたい。

救急安心センター （#7119）事業について

Q 本市の相談件数の現状と本事業を導入したことによる実績は？

A 令和5年度の本市の相談実績は、7月の事業開始から12月末までの6か月間で約700件あり、80歳代と70歳代の利用者が約30パーセントを占めている。相談者への助言内容としては、翌日受診の助言が全体の約36パーセント、救急車の要請助言が約9・8パーセントであり、緊急度や重症度の高い相談者を早期に医療へつなげるなどの助言結果となっている。

急な「病気」や「ケガ」で、
救急車を呼ぶ？病院に行く？
迷ったときに

えひめ救急電話相談窓口

#7119

（通話無料）

※携帯電話（NTTドコモ、楽天）
固定プッシュ回線は通話料無料
※上記以外の携帯電話の通話料は
有料になります。

365日
24時間
対 応

0120-79-7119

（通話無料）

089-909-9935

（県内通話有料）



東部公園に設置した
木製ベンチ

森林整備基金 充当事業について

Q 基金が森林整備以外の事業にも充当されている理由は？

A 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律で使途が規定されている。森林整備が第一の目的ではあるが、人材の育成、担い手の確保、公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進などにも活用できることとされている。

なお、事業については、市内に西条市森林整備基金活用検討会を設置し関係部署と調整を図り選定している。

西条市・保定市交流事業 及び西条市・フエ市 交流事業について

Q 合併20周年記念事業である両市との交流事業の内容は？

A 中国保定市交流事業は、友好都市30周年となることから、7月又は9月に保定市人民政府の関係者など約10名を招致し、記念式典、特別講演会、市内の国際交流団体の訪問などを予定している。

フエ市交流事業は、平成30年4月に友好都市を提携したフエ市に、令和5年4月に本市代表団が訪問し、フエ伝統工芸フェスティバルで西条まつりを紹介した経緯があることから、10月のまつり期間に人民委員会の幹部及び教育委員会関係者など約10名を招致し、西条まつりの見学のほか、市内小学校での交流や給食の体験、伝統工芸の工房を訪問する予定となっている。

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

3/11 開催
付託議案 14件



3 月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第2号	令和5年度西条市一般会計補正予算（第11回）について	原案可決	議案第27号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	令和5年度西条市港湾上屋事業特別会計補正予算（第1回）について		議案第28号	西条市介護保険条例の一部を改正する条例について	
議案第4号	令和5年度西条市庄内財産区特別会計補正予算（第1回）について		議案第29号	西条市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第5号	令和5年度西条市壬生川財産区特別会計補正予算（第1回）について		議案第30号	西条市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第6号	令和5年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2回）について		議案第31号	西条市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第7号	令和5年度西条市病院事業会計補正予算（第1号）について		議案第32号	西条市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第8号	令和6年度西条市一般会計予算について		議案第33号	西条市企業立地促進条例の一部を改正する条例について	
議案第9号	令和6年度西条市国民健康保険特別会計予算について		議案第34号	西条市漁港管理条例の一部を改正する条例について	
議案第10号	令和6年度西条市介護保険特別会計予算について		議案第35号	西条市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	
議案第11号	令和6年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計予算について		議案第36号	西条市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第12号	令和6年度西条市小松地域交流事業特別会計予算について		議案第37号	西条市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第13号	令和6年度西条市本谷温泉事業特別会計予算について		議案第38号	西条市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第14号	令和6年度西条市畑地かん水事業特別会計予算について		議案第39号	西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	
議案第15号	令和6年度西条市庄内財産区特別会計予算について		議案第40号	令和6年度西条市一般会計補正予算（第1回）について	異議なし
議案第16号	令和6年度西条市壬生川財産区特別会計予算について		議案第41号	令和6年度西条市介護保険特別会計補正予算（第1回）について	
議案第17号	令和6年度西条市後期高齢者医療保険特別会計予算について		議案第42号	人権擁護委員候補者の推薦について（處 淳子 氏）	
議案第18号	令和6年度西条市水道事業会計予算について		議案第43号	人権擁護委員候補者の推薦について（井門喜代美 氏）	
議案第19号	令和6年度西条市病院事業会計予算について		議案第44号	人権擁護委員候補者の推薦について（加藤 美江 氏）	
議案第20号	令和6年度西条市公共下水道事業会計予算について		議案第45号	人権擁護委員候補者の推薦について（黒河 敦子 氏）	
議案第21号	西条市指定金融機関の指定について		議案第46号	人権擁護委員候補者の推薦について（磯 明 氏）	
議案第22号	土地改良事業の施行について		議案第47号	人権擁護委員候補者の推薦について（馬場 耕三 氏）	
議案第23号	市道路線の変更について		議案第48号	人権擁護委員候補者の推薦について（岡 千都世 氏）	
議案第24号	西条市学校適正規模・適正配置等審議会条例について		請願第29号	保育士配置基準の改善及び保育士の処遇改善を求める請願	不 採 択
議案第25号	西条市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について		請願第31号	加齢性難聴者への支援に関する請願	
議案第26号	西条市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について			議員の派遣の承認について	承 認

議員別 議案等賛否一覧

上表は議案などの審議結果を、下表には賛否が分かれた議案など（上表の網掛け部分）の状況を掲載しています。（現議員数28名）

議員名 議案等 (賛成：反対)	1 越智由美子	2 市川みどり	3 高橋淑子	4 森川亜紀	5 今井廣一	6 塩崎雄大	7 三好和彦	8 高橋保	9 佐々木充	10 真鍋顕伸	11 城戸力	12 井上浩二	13 白坂均	14 西坂壽	15 藤井武彦	16 川又由美恵	17 佐伯利彦	18 坪井剛	19 高橋章哲	20 伊藤新平	21 御庄秀樹	22 越智俊幸	23 藤田節雄	24 行元博	25 一色輝雄	26 楠 學	27 武田功	28 伊藤孝司
議案第8号	25：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	25：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	25：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	25：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	24：2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	25：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第29号	6：20	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第31号	3：23	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ ○：議案などに対して賛成 ※ ×：議案などに対して反対 ※ 楠 學 議員は、議長職のため表決に加わっていません。

市議会だより編集委員会
委員長 藤井 武彦
副委員長 川又 由美恵
委員 西 坂 由美恵
委員 高 橋 哲壽
委員 御 庄 章
委員 藤 田 節
委員 伊 藤 雄博
委員 武 田 功雄
委員 一 色 輝雄
委員 行 元 博
委員 藤 田 節雄
委員 越 智 俊幸
委員 御 庄 秀樹
委員 伊 藤 新平
委員 高 橋 章哲
委員 坪 井 剛
委員 佐 伯 利彦
委員 川 又 由美恵
委員 藤 井 武彦
委員 西 坂 壽
委員 白 坂 均

SAIJO BASE

一年前までの行動制限が、うそのように、週末は行楽地に人があふれています。
SAIJO BASEや西条図書館芝生広場、伊予西条駅、壬生川駅周辺などで地域のかたがたが企画した、イベントが開催されています。
イベント情報を確認して出かけてみませんか。地域の新しい魅力を発見できるかも。

編集後記